

6月になりました。

外は霧雨、梅雨入りも間近のようです。

ただでさえ、ジメジメする季節を迎え気分が暗くなりそうなのに、連日、傲慢で自信過剰な人が高圧的な態度で自分の欲望や名声の為に、優秀な人材に無理難題を押し付け、人の良心や人生を傷つけている様なニュースばかりを見ている気がします。梅雨前にもう気が滅入っています。



私は NPO という活動組織の一応「長・リーダー」をやらせて頂いています。といっても、最初はただ自分の「やってみたい事をやってみたい」と始めたただけでした。ですが1人の力では何かが出来る事はありません。今まで多くの方にその想いを語り、ご意見を頂き、そして色々な人の想いも取り込みながら、活動し現在に至っています。私の様な者がまがりなりにも小さな想いを少し現実化できているのは協力し支えてくれている人達と想いを一つにしてできた「組織・グループ」があるからです。

機能する組織とはそこに係わる人達が「想い」を共有できて初めて正常に動くと思います。さらにその「核」となる「想い」を共有した個人がそれぞれの能力やスキルを惜しみなく提供してくれる事で何倍もの力を得ることが出来るのだと実感していますこれは協働の理念にも通じると思います。

個々の力を十分に発揮する為に必要な人間関係は、権力を背景にした威圧的恫喝的な言動や怯えさせ、服従させる力からではなく、「想い」に対する相互理解や共感だと思います。それがつながった時、はじめて組織の中の個人であっても、歯車にならず自発的に熱意と決意をもって持てる力を十分に発揮した有益な行動をとり、結果的に、活動や組織を盛りたてる結果をもたらせてくれるのだと思います。

「組織の長・リーダー」とは想いを伝え、それに理解を示し、同じ方向を見てくれる人達の「かじ取り役」でありできれば、その組織活動における「良心」でもあるべきだと思います。結果を追い求めるばかりに、「個人の正義や良心を捨てさせ、人格を傷つけ、人生までないがしろにさせる「長・リーダー」や「組織」は全く持って論外なのだと弱小 NPO の理事長でさえ憤っています。

もちろん「長・リーダー」は成人君主でもなく「ただの人」です。当然、間違いも失敗も多々あります。

ですが「想いを共有している人の声に耳を傾けその支え」があればその間違いに気付き、失敗を成功に導きかえる事が出来るのだと過去の経験から断言できます。

群れるのが嫌いで「独りが好き。でもたった独りは嫌や」というわがままな少女は、これまで幾度となく失敗し、落胆し時に傷つく事もありました。が、先人の言動や振る舞いに憧れ尊敬しそれらに影響され、少しずつ、「生き方の作法」「ものの分別」を学び成長してきたと思っています。まだまだ不十分ではありますが、人に支えられ、「長・リーダー」として日々奮闘しています。

自分の目標、野心も生きていく上では重要なファクターですが、それを成すために大切な力は「正義と良心」に従い発揮されるべきだと・・飯ではなくパンだと嘯く日本のリーダー達優柔な普段で傲慢な言動をとるスポーツマン???・そして、うなだれる坊主頭の青年を見ながら、「組織とは」「リーダー」とはと考えてしまった梅雨入り宣言まえの6月のはじまりです。